

## 事例から論文の読み方を学ぼう

参加者募集！

定量的に実施された研究論文を読むことは、臨床的疑問を解決する有用な方法の1つです。そのためには研究デザインや統計学の知識が必要です。論文を読むには、「明らかにしたい研究仮説」と「研究デザイン・解析方法」を対応させて、構造的に論文を読むトレーニングが重要です。もちろん、臨床的な用語だけでなく、統計的な用語を知っていることで、より論文を構造的に理解しやすくなります。

本セミナーでは、量的研究の研究デザインと統計学の基本的な考え方を学んだあとに、実際に論文を読解することで、量的研究の理解を深めるというステップを踏みながら、論文読解力を高めていきます。

対象者	<b>看護系大学・大学院の学生・院生・教員、看護師、保健師を中心に、医師・栄養士等を含むすべての医療従事者</b> (研究に取り組んでいる方はもちろん、量的研究から得られる知見を実践で活かしていきたい方、これから進学を考えていらっしゃる方など、量的研究の知識スキル向上に関心がある方は、どなたでも受講できます。)
開催日時	2023年6月24日(土) 10:00～16:00
開催方法	オンライン開催
プログラム	裏面をご覧ください。
セミナーの特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライブ配信を視聴できない方や、復習をしたい方は、講義後14日間オンデマンド配信を視聴できます。</li> <li>・ライブ配信では講義後に、音声やQ &amp; A*での質問が可能です。(質問は、講義内容に関するものに限りです。) *ビデオ会議ツール Zoom の Q &amp; A 機能のことです。</li> </ul>
受講料	11,000円(税込)
申込方法	一般財団法人厚生労働統計協会ホームページの「医療職のための統計セミナー」ページ ( <a href="https://www.hws-kyokai.or.jp/seminar/kango.html">https://www.hws-kyokai.or.jp/seminar/kango.html</a> ) の申込みフォームからお申込み下さい。
申込み締切	2023年6月1日(木) ※お申込み後のキャンセルのご連絡も、2023年6月1日(木)までお願いいたします。
支払方法	<p>「クレジットカード支払い」*1*2 又は、「請求書支払い」*2 をご選択いただけます。</p> <p>*1 オンライン決済システム“Square”を利用したお支払いになります。</p> <p>*2 2023年6月7日(水)までにご入金の確認がとれない場合は、キャンセル扱いとさせていただきます。</p>
定員	<b>200名程度</b> (定員になり次第メ切)
配信方法	ビデオ会議ツール Zoom を使用したライブ配信セミナーです。 Zoom は、Zoom Video Communications, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
その他	受講者には、講義終了後「領収書」と「修了証」をお送りいたします。

## 講師

## 友滝 愛

東海大学  
医学部 看護学科  
特任講師

## 坂巻 顕太郎

順天堂大学  
健康データサイエンス学部  
准教授

## 森田 光治良

東京大学大学院  
医学系研究科附属  
グローバルナースングリサーチセンター 特任講師



医療職のための統計セミナー

〈お問合せ先〉

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町4番9号小伝馬町新日本橋ビルディング3階

TEL: 03-5623-4123 FAX: 03-5623-4125

当協会ホームページのセミナー・講座のお問合せフォームからお問い合わせ下さい。

ホームページ <https://www.hws-kyokai.or.jp/>

# プログラム

配信日：6月24日（土）

時間	講義科目（講師名）
9：57～10：00	<u>ガイダンス（厚生労働統計協会）</u>
10：00～10：20	<u>講義①ヘルスケア分野における量的研究の役割（友滝 愛）</u> <p>「ケアを数値で評価するのは難しい」「患者の個性は数値では評価できないのではないか」「量的研究は苦手」といった悩みや疑問の声をよく聞きます。もちろん、臨床的な疑問を明確にするための質的研究も重要ですが、臨床的な疑問を解決するためには、量的研究も必要です。関心のあるテーマの論文を探してみると、誰しも一度は量的研究を目にすることになります。</p> <p>実際の臨床現場では、複合的な要因により、様々な事象が生じています。これを「測定」というフィルターを通すことで、関係性を明示的に記述したり推測することができます。また、研究としてデザインして測定することで、ある程度のエビデンスレベルで説明できるのが量的研究のメリットです。このような知見の蓄積が、未来の医療が支える根拠の1つとなります。</p> <p>この講義では、「量的研究の論文を読む知識スキルの向上が、明日の臨床実践や将来の研究にどのように役立つのか」を理解することを目指します。</p>
10：20～12：00	<u>講義②統計的観点から説明する量的研究概論（坂巻 顕太郎）</u> <p>臨床現場では様々な疑問（clinical question）が生じます。その疑問を解消するために、科学的に答えられる疑問（research question）に翻訳し、答えをデータから探索・検証することを多くの研究者が行い、論文にまとめてきました。このような論文を書くためだけでなく、論文を読むためにも、統計的な知識は必要になります。データをどう集めるのか、集めたデータをどう解析するのか、解析した結果をどう解釈するか、といった観点をもつことで、論文から見えてくる世界が変わってきます。</p> <p>本講義では、主に、治療やケアなどの介入の効果や影響の評価を目的とする量的研究の論文を例に、論文を読むときに知っておくとよいポイントを統計的観点から解説します。</p>
12：00～13：15	<u>昼食休憩</u>
13：15～16：00	<u>講義③論文を読んでみよう（実践編）（森田 光治良）</u> <p>論文には一定の書き方が存在します。論文の書き方に沿った論理展開を追いながら論文を読んでいくように心がけることが論文を読めるようになるための近道です。</p> <p>また、研究方法や統計で知らない専門用語に遭遇したときも、研究方法と分析結果の対応を意識した読み方が役立ちます。</p> <p>この講義では、実際の論文を取り上げ、どのように論文を読んでいけば良いのか解説します。</p>

## ○当日ライブ配信

講義開始 10 分前から Zoom セミナールームに入室可能です。

○ライブ配信を見逃した方や復習をしたい方は、オンデマンド配信も視聴できます。

オンデマンド配信期間 2023 年 6 月 27 日（火）10：00～7 月 11 日（火）16：00（14 日間）※1

○講義後、音声や Q & A※2 での質問が可能です（質問は、講義内容に関するものに限りです）。

※1 開催日翌週の火曜日から 14 日間の掲載予定。動画の録画状態により、配信期間を変更させていただく場合があります。

※2 ビデオ会議ツール Zoom の Q & A 機能です。